

平成20年6月29日(日)

## 平成20年度第2回理事会 議事録

日 時 平成20年6月29日(日)

場 所 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場第1会議室

出席数 25名

開 会 15時30分

## 1 会長挨拶

お忙しいところ恐縮である。井上裕氏(元副会長・顧問)の葬儀が昨日あり参列した。盛大な葬儀であった。陸協に対する貢献は大きく、高体連駅伝等で御協力いただいた。ご冥福をお祈りする。本日は議題は少ないが、その分時間があるので何かあれば検討していただきたい。

## 2 議事

## 報告事項

## (1) (財)日本陸上競技連盟評議員会について(高木評議員)

配付資料について説明 資料参照

6月9日開催 秩父宮賞配分については関東陸協理事会で決定する。

広島大会ハードル設置ミス、大阪大会1600mリレー誘導ミス

詳細は回覧資料にて

## (2) (財)千葉県体育協会評議員会について(立澤評議員)

配付資料について説明 資料参照

5月16日開催 議事についてはすべて承認された。

詳細は回覧資料にて

質問:日韓中ジュニア交流競技会についてどうか、千葉陸協の役割は何か(副会長)

回答:選手については、日本代表は陸連、県代表は千葉県高体連で選考予定。千葉市(オープン参加)は検討中である。8月25日(月)26日(火)の2日間に男子12種目、女子11種目の決勝競技のみで実施する。千葉陸協は主管陸協として審判業務を担当する。

## (3) 2008 国際千葉駅伝について(高木総務委員長)

配付資料について説明 資料参照

6月2日(月)監査終了後に予算案を立案した。資料に記載した反省事項のとおりである。陸協と駅伝事務局の仕事の区別をはっきりするよう指示があった。経費削減から全体訓練会は中止したが、主任副主任会議を1回増やした。各項目とも大幅削減した。駅伝開催の県民に対するメリットについて、具体的数値を何らかの形で回答するよう県から求められた。

意見:駅伝開催に対するメリットの回答提出要請は本末転倒である。前知事から開催について、陸協に強い協力要請があった。県に対して毅然とした態度が必要である。

(副会長)

意見：千葉県の国際化に貢献している。県民一人ひとりの国際感覚を高めたいという前千葉陸協会長の意見に当時の県担当者も同意していた。県に対して確認が必要である。

(副会長)

意見：千葉陸協は主管団体であり、競技運営に徹するべきである。大会の活性化については主催団体の責任と考えるのが筋である。(副会長)

(4) 新B級公認審判取得講習会について(中田審判委員長)

配付資料について説明 資料参照

8月31日(日)開催。平成22年度国体等に向け新規審判員を養成したい。

(5) その他

千葉県民体育大会要項について(立澤競技委員長)

配付資料について説明 資料参照

10月26日(日)開催。29種目を実施。選手変更は24日(金)10:00~16:00に事務局あてFAXで対応する。33市・郡で開催される。

平成20年度関東高等学校陸上競技大会の結果について(木内高体連委員長)

配付資料について説明 資料参照

競歩混成は上位3名、その他は上位6名がインターハイに出場する。女子は昨年に続き不調である。強化に励みたい。

小学生交流大会について(畠中理事)

7月13日(日)小学生交流大会千葉県予選会開催。県全体で520名参加予定。昨日プログラム編成作業終了、ありがとうございました。

3 その他

質問：国体関係の千葉陸協に対しての助成金等の連絡・情報などはあったか。(理事)

回答：まだない。国体視察等の補助金について、7月1日(火)に説明会が実施される。

(中村国体実行委員会事務局長)

意見：県市からの資金援助の見通しが立たない現状であれば、実行委員会に対して資金の手当てを陸協からすべきである。(理事)

質問：実行委員会についての進捗状況はどうか。(副会長)

回答：5月16日(金)実行委員会開催。大分国体視察について各担当者が参加することになった。千葉国体について12月に実施種目が決定する。その後用器具関係は決定する。競技場施設等は現状のままである。他県からの選手団をどう迎えるか、検討が必要である。特に準備のための資金手当てはない。理事会で検討をお願いしたい。

(中村国体実行委員会事務局長)

回答：県市の資金についてよく分かっていない。市担当者と密に連絡を取り、千葉市陸協としても努力する。(副会長)

意見：実行委員会に特別会計を流用してよいかどうかこの理事会で決定すべきである。

(理事)

提案：陸協の特別会計から、実行委員会に活動のための資金の支出をする。ただし、県市からの助成金の補助があった時点で、特別会計からの支出分は戻入する。(会長)

上記提案について、満場一致で承認された。

閉会挨拶 藤原副会長

16時15分閉会(閉会時 26名)